

男性の育児休業の取得と 家事・育児参加



内閣府経済社会総合研究所
客員研究員
高村 静

はじめに

①

- 内閣府経済社会総合研究所『男性の育児休業取得が働き方、家事・育児参画、夫婦関係等に与える影響』（平成29年3月）（*）より、男性の育児休業取得と家事・育児参加の関係についての関連箇所をご報告します。

本報告は、下記報告書の内容の一部を、発表者の責によりご紹介するものです。詳細については直接下記をご覧ください。

※内閣府経済社会総合研究所 New ESRI Working Paper No.39(March 2017)
「男性の育児休業取得が働き方、家事・育児参画、夫婦関係等に与える影響」
http://www.esri.go.jp/jp/archive/new_wp/new_wp040/new_wp039.pdf

内容

2

- 調査の概要
- 男性の家事・育児参画の状況(第1子出生後)
- 男性の家事・育児参画の状況(第1子出生前後)
- 男性の家事・育児参画の状況と働き方の工夫
- 男性の家事・育児参画の状況と夫婦関係満足等

調査の概要

3

調査手法	インターネット調査
調査範囲	全国
調査対象	<ul style="list-style-type: none">・20～59歳の過去5年以内に第1子が生まれた男性・第1子出生時に本人が被雇用者・第1子が1歳になるまでの間に配偶者(第1子)と同居
標本サイズ	5,721サンプル
標本抽出方法及び回答者の内訳	ネットモニターのうち、上記条件に該当する者に対して調査を実施。育児休業取得・非取得の内訳は下記の通り。 [育児休業取得者:469人、育児休業非取得者:5,252人]
調査の目的	<ul style="list-style-type: none">・男性の育児休業取得を規定する要因の検討すること。・第1子出生前後を比較し、育児休業の取得が①働き方、②家事・育児参画、③夫婦関係、等に与える影響を検討すること。
調査時期	2016年11月

調査設計の概要

4

- 次の3時点について①職場の状況・働き方、②家事・育児参画、③夫婦関係、等について尋ねた。

時点1：出生前
(妊娠判明時)

- ・職場要因・働き方
- ・家事分担
- ・夫婦関係 等

時点2：出生直後
(育休中)

- ・育休取得のきっかけ
- ・育休取得日数
- ・育休中の過ごし方 等

時点3：出生後
(第1子1歳時)

- ・働き方
- ・家事・育児分担
- ・夫婦関係 等

：育休取得の規定要因

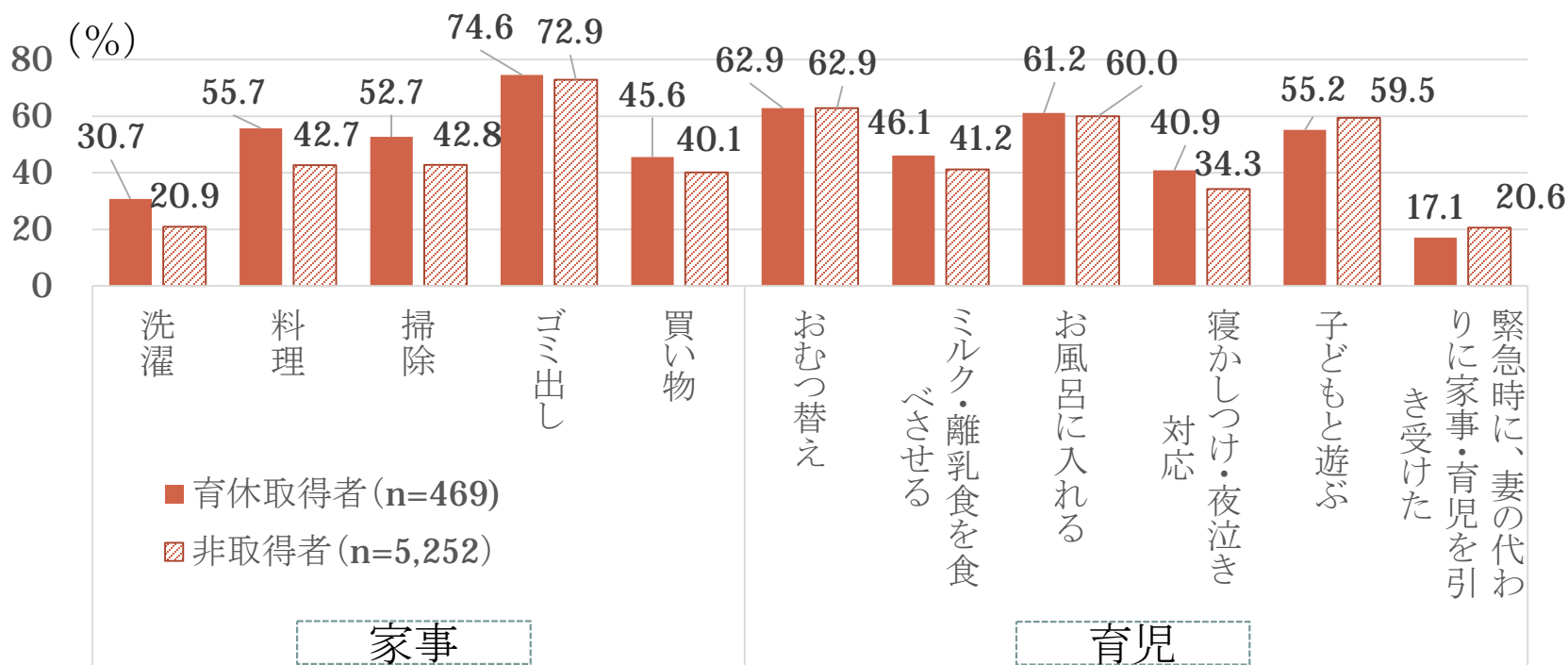
：育休取得による働き方、家事・育児参画、夫婦関係等の変化

男性の家事・育児参画の状況(第1子出生後)

5

- 育児休業を取得した経験のある者は家事・育児を負担している割合が高い傾向。

第1子出生後(1歳時)の平日の家事・育児参画の状況 ※複数回答



男性の家事・育児参画の状況(第1子出生前後)

6

- 育児休業取得者の方が第1子出生前後で家事・育児の時間、
個数とも増加する傾向。

育児休業取得者と非取得者の家事・育児参画の状況(出生前後)

	平日家事・育児時間			平日家事・育児数		
	出生前 時間	出生後 時間	(差) 時間	出生前 家事・育児数*	出生後 家事・育児数*	(差) 家事・育児数*
育児休業取得者(n=435)	1.87	2.32	(+0.45)	2.85	5.49	(+2.64)
育児休業非取得者(n=4,975)	1.47	1.80	(+0.33)	2.40	4.98	(+2.58)

	休日家事・育児時間			休日家事・育児数		
	出生前 時間	出生後 時間	(差) 時間	出生前 家事・育児数*	出生後 家事・育児数*	(差) 家事・育児数*
育児休業取得者(n=435)	3.81	5.05	(+1.24)	3.60	7.12	(+3.52)
育児休業非取得者(n=4,975)	3.49	4.68	(+1.19)	3.10	6.48	(+3.38)

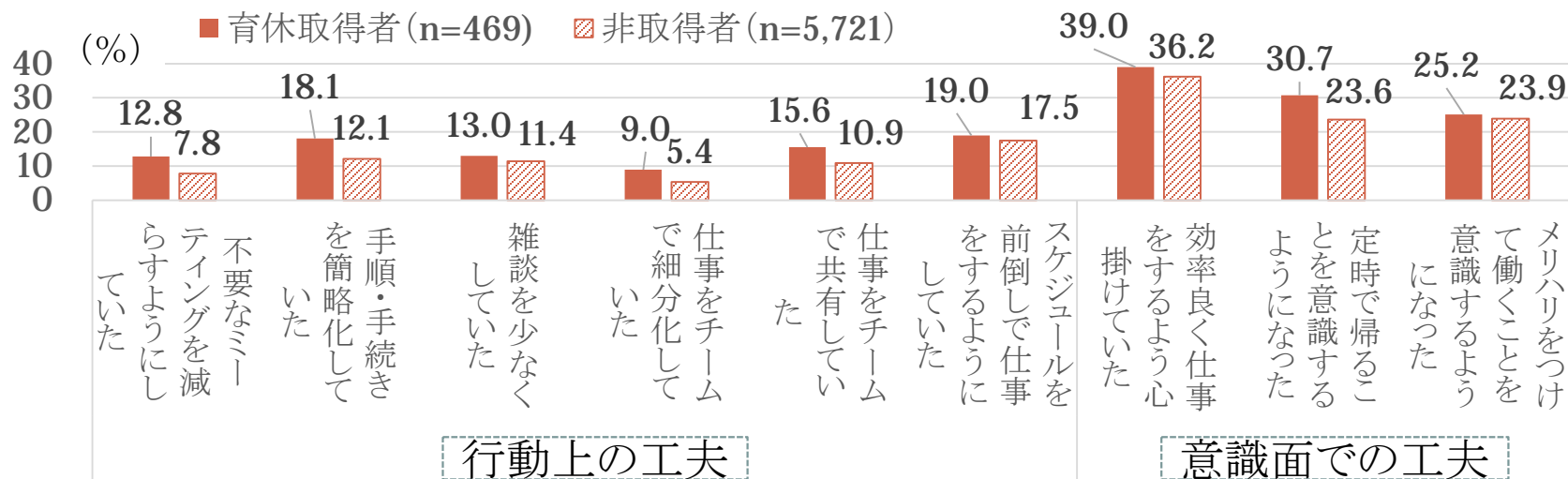
(*) 「家事・育児数」: 出生前は「洗濯」「料理」「掃除」「ゴミ出し」「買い物」の5項目について担当する家事の数の合計、出生後はこれに「おむつ替え」「ミルク・離乳食を食べさせる」「お風呂に入れる」「寝かしつけ・夜泣き対応」「子どもと遊ぶ」「緊急時に、妻の代わりに家事育児を引き受ける」についての担当する育児数も加えた合計。

(**) なお、育休取得者は出生前から家事・育児の時間、個数とも多い状況を制御しても、育児休業取得により家事・育児の時間、個数が増加する状況が見られた(一階差分モデルによる検討)。

男性の家事・育児参画の状況と働き方の工夫

7

- 育児休業取得者の方が「働き方の工夫」(行動、意識)をする傾向。
 - 「会社にいる時間」も短くなる傾向(本文P30)。
 - 特に、育児休業中に家事・育児をした人にその傾向(本文P30)。
第1子出生後(1歳時)の働き方(行動・意識)の工夫の状況



男性の家事・育児参画の状況と夫婦関係満足等

8

- 第1子出生後(1歳時)の家事・育児参画(家事・育児時間、家事・育児数)と夫婦関係満足、追加出生意欲の間には、弱いながらも、有意な正の相関が見られる。

第1子出生後(1歳時)の家事・育児参画と夫婦関係満足、追加出生意欲の相関

	平日家事時間	平日家事数	休日家事時間	休日家事数
夫婦関係満足度	-0.021	0.088**	0.000	0.116**
追加出生意欲	0.021	0.082**	0.053**	0.097**
N	5189	5197	5410	5410

※[†] $p < .10$, * $p < .05$, ** $p < .01$, *** $p < .001$

(*) なお、育児休業取得日数が第1子出生前後の夫婦関係満足の増加に対して、また妻の体調にあわせて育児休業を取得したという取得のきっかけが第1子出生前後の追加出生意欲の増加に対して影響をもつ状況が見られた(一階差分モデルによる検討)。

今回のまとめ

9

- 男性で子ども出生後(今回は第1子1歳時)に多くの家事・育児をすることと、働き方や夫婦関係等の間には良い影響が見られる。
- 男性の子ども出生後(今回は第1子1歳時)の家事・育児参画の状況には、育児休業取得の影響が見られる。